

こんなに大きくなりました! 国際交流の芽



左端の赤い印がユーリカのある場所です。

神栖・ユーリカの姉妹都市盟約は、1991年11月17日、米カリフォルニア州ユーリカで調印されました。

国際化が急速に進展する中、地域レベルの指導者として国際化の環境を整備し、総合的な国際化施策を推進するための第一歩として「お互いに港を有し、自然と産業の良く調和されている面で共通性があるまち」と相互理解をした上で、姉妹都市の提携をしました。



神栖文化センターの一角で大きくなったレッドウッド



姉妹都市盟約当時のナンシー元市長と沼田元町長による記念植樹 (1991年6月24日)



姉妹都市 ユーリカ EUREKA



ユーリカ郊外にあるレッドウッドの森

市の名前・ユーリカは「見つけた!」を意味する古代ギリシャ語に由来する。カリフォルニア州の鉱山経営者が、奥地で採掘される金鉱石をニューヨークへ向けて積み出す港を探し求めていたところ、ついに理想的な天然の港を発見し、感極まって発した言葉である。

アメリカ西海岸のカリフォルニア州フンボルト郡の中心都市であり、フンボルト湾沿いに位置する。人口は約25,000人。周囲を山と海に囲まれ、漁業と林業が盛んである。レッドウッドの森、ビクトリア調風の建築で有名なオールドタウン、フンボルト湾の比類のないロケーションなどを生かして観光にも力を入れている。

街並みをご紹介します!



ユーリカボードウォーク

港の賑わいと素晴らしいウォーターフロントの景観を提供している。オールドタウンにも近く、そぞろ歩きに最適。



カーソンスマンション

オールドタウンの代表的なビクトリア調建築。現在は会員制クラブになっている。



Clam Beach

ベストビーチにも選ばれている海岸。貝殻を拾いながら散策したり、キャンプ、乗馬を楽しんだりと憩いのスポット。



オールドタウン

現在は、素晴らしいビクトリア調の建築様式のコレクションを誇っている。

中学2年生の時に交換留学生として、その8年後に一般公募で再度ユーリカを訪問した「大山美樹さん」の今は?

Q: 中学2年のとき、応募したきっかけは?

大山: 英語が好きだったことと、仲良しの友達に誘われて応募しました。

Q: 初めてユーリカを訪問した時の印象は?

大山: 英会話に自信がなかったのでとても不安でした。ステイ先のおじいちゃんが英語で話しているのが不思議だった。オールドタウンの印象が強く残っています。バスタブにお湯を張って使いたかったです。

Q: 楽しかった思い出は?

大山: 夜、他の友達のステイ先を訪問して一緒に食事をしたり、お互いに泊まりに行ったことが楽しかった。

Q: 8年後に訪問した感想は?

大山: 日程が短かったので、ユーリカの人たちと話し合う機会があまりなかったのが残念でした。

Q: 2回の訪問で自分自身プラスになっていると思うことはありますか?

大山: 初めてユーリカへ行ったときはあまり英語が話せなかったため、高校・大学へ進学したら、もっと英語を勉強したいと強く思ったこと。そのため大学のときに3か月間カナダに留学しました。現在、市内の金融機関に勤めていますが、仕事に外国人から電話があったときや、窓口に外国人の来客があったときなど、上司から対応を任されることがあり、そんなときは英語を勉強して良かったと思います。

Q: 将来の夢は?

大山: いつかまた、留学したいと思っています。その時のために今お金を貯めています。



中学2年のときユーリカで



フンボルト湾で乗船を楽しむ

追記: 大山さんのお兄さんは妹さんの影響を受けて、大学の時に一般公募でユーリカへ。その後カナダ留学を体験して、現在は神栖市内の中学校で英語の教師をされています。美樹さんも大学の時にお兄さんの紹介でカナダの同じお宅にホームステイしながら3か月の留学。大山さん兄妹にとってユーリカ訪問は貴重な体験になったようです。